

アルゼンチン産牛肉をお手軽に

松井一敬

2020年12月1日（火）に日本初となるアルゼンチン産牛肉を取り扱うオンラインストア、『ドン・ロッシ (Don Rossi)』をオープンしました。

日本アルゼンチン協会会員、松井一敬（かずよし）と申します。

国内外のビジネスホテルでのWEBサイト企画・制作、広告販促企画デザイン・制作、消耗品の企画・販売を手掛ける“株式会社フィエスタプロジェクト”（神奈川県川崎市）が、業容を拡大し『ドン・ロッシ (Don Rossi)』を始めました。

私はアルゼンチン人の母を持ち、15歳～21歳までの6年間にBuenos Aires州 San Nicolás de los Arroyos市で過ごし、アルゼンチン産品を積極的に日本でご紹介しながら日亜両国関係発展の一助となる事を望んでいます。



2019年の夏前にアルゼンチン産牛肉が国内で販売されていることを知って味わってみたところ、とても美味しく「アルゼンチン産牛肉を弊社お取引様ホテルのレストランで使ってもらいたい」と思ったところから本プロジェクトをスタートし、2020年の2月より取引しているビジネスホテルのレストランを対象にアルゼンチン産牛肉の販売をする予定でプロジェクトを進めていました

が、コロナの影響によりホテルへの販売を一時中止せざるを得なくなり、他の可能性を模索していたところ、ご縁を頂いた飲食店の方々や友人・知人やお取引先などの各関係の方々にアルゼンチン産牛肉をサンプルとして配ったところ、予想を遥かに超えるほどの評価を頂き、それを受け、飲食店と一般のお客様を対象に販売活動させていただく運びとなりました。

それに伴い、食肉業販売業許可を持つ有限会社並木商店（東京都新宿区）にアルゼンチン産牛肉の保管・加工・発送までワンストップで委託することで、お客様には安心と安全をお約束しながら、国内で流通量の少ないアルゼンチン産牛肉をたくさん食べて頂けるよう、万全の環境を整えることが出来ました。

現在の取扱商品としてはテストマーケティング時にとっても反響の良かったリブローズをメインの商品として販売させていただき、ゆくゆくは他の部位やアルゼンチン産の食料品など販売をしていく予定です。

■アルゼンチン産牛肉専門店ドン・ロッシ | Don Rossi の公式サイトはこちらから

<https://donrossi.jp/>

■店名の由来とロゴ：



店名のドン・ロッシは代表者・松井一敬の祖父が近所の方たちから呼ばれていたあだ名でした。シンボルロゴには祖父の写真をトレースしています。また店舗カラーの青と黄色はサポーターであるボカ・ジュニアーズをイメージしたカラーとしております。

【取扱商品】

- リブローズ(ステーキカット or ブロック)/約 500g
- リブローズ(ステーキカット or ブロック)/約 1kg
- リブローズ(ブロック) /約 2kg 前後



【上質の赤身にサシがほどよく入ったリブローズ】

輸入牛肉にありがちな臭みがなく、上質の赤身にサシがほどよく入り、ほんのりとミルクィな甘さで、何度食べても飽きず、女性でも子供でもペロリとたくさんの量が食べられてしまうほど美味しいのが最大の特徴です。

フィエスタプロジェクト社 代表取締役 松井一敬がリブローズの食レポや、リブローズ・ステーキの作り方を動画にしております。今後はBBQなどに挑戦予定ですので、ぜひご覧ください。

【【塊肉☆ステーキ】アルゼンチン産牛肉リブローズを焼いてみた！】

<https://www.youtube.com/watch?v=zPDiKvYFBU4>

【アルゼンチン産牛肉・リブローズ。極厚 2 センチステーキにして焼いたから記録がてらに食レポ。あっさりとした赤身なのにスプーンで切れる柔らかさ。】

https://www.youtube.com/watch?v=gNBP_4Y5PWg

【お問い合わせ窓口】

株式会社フィエスタプロジェクト（担当：松井まで）

Tel. 044-567-2619

matsui@fiestaproject.jp

<https://fiestaproject.jp/>

〒216-0011 神奈川県川崎市宮前区犬蔵1丁目14-14-1



松井一敬プロフィール：

アルゼンチン人の母を持ち、15歳～21歳までの6年間をアルゼンチン・ブエノスアイレス州サン・ニコラス・デ・ロス・アローシヨスで過ごし、日本に帰国。その後、WEB制作会社を経て、2012年に個人デザイン事務所・フィエスタプロジェクトを立ち上げ、2016年に法人化。これまで国内外のホテル30棟以上の新規開業プロジェクトに携わる。

松井一家とベロー大使

（まついかずよし：当協会会員）